

各種目専門部指導者紹介



高橋 弘明

専門部名 ソフトボール
勤務校 県立浦和商业高校
担当教科 商業
趣味・人生観等
スポーツ観戦・先を見据え、今何をすべきか考える



瀬野 育美

専門部名 ハンドボール
勤務校 県立浦和西高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
スポーツ観戦をすること。乗り越えられない壁などない。何にでも挑み続けること。



新井 昭夫

専門部名 ラグビー
勤務校 本庄第一高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
スポーツ観戦



石野 雅樹

専門部名 水泳
勤務校 花咲徳栄高校
担当教科 数学
趣味・人生観等
趣味は映画（MCU）鑑賞
「可能性ある限り全力を尽くす」



坂田 真輝

専門部名 水泳（競泳）
勤務校 県立浦和商业高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
スポーツ観戦
「艱難汝を玉にす」



荒井 大輝

専門部名 少林寺拳法
勤務校 川越東高校
担当教科 国語
趣味・人生観等
旅行・温泉・映画鑑賞



大関 麻弓

専門部名 ダンス
勤務校 県立大宮商業高等学校
定時制
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
旅行、食べること、運動すること



大西 達哉

専門部名 ソフトテニス
勤務校 浦和実業学園高校
担当教科 国語
趣味・人生観等
趣味は旅行です。
自信、愛校心、協調精神を育むべく部活動指導に取り組んでいます。



橋本 道和

専門部名 ソフトテニス
勤務校 県立松山高等学校
担当教科 数学
趣味・人生観等
ボランティア



八木 彬人

専門部名 バドミントン
勤務校 県立大宮東高校
担当教科 保健体育
趣味・人生観等
キャンプ
スノーボード



大澤 崇純

専門部名 バドミントン
勤務校 県立熊谷西高校
担当教科 理科（生物）
趣味・人生観等
スキューバダイビング、写経
すべてのものごとは、その人の心によって成り立つ



山田龍太郎

専門部名 空手道
勤務校 本庄第一高校
担当教科 英語
趣味・人生観等
趣味はスキーとサウナです。空手道を通して多くのことを学んできましたが、今度は指導者としてその経験を生徒たちに教えていきたいと思っています。夢は日本一の空手道部を作ることです。

研究部活動報告

研究部部长



久保 浩
(志木高等学校長)

研究部委員長



津田 孝弘
(岩槻高等学校)

研究部活動報告ならびに今後の展望

委員長 津田 孝弘

1 第1回委員会

期 日 5月31日(火曜) 13:00

会 場 県立武道館第一・第二会議室

※ 書面にて開催

内 容 ・令和3年度事業・決算報告
・役員改選
・令和4年度事業計画、予算審議

2 第2回委員会

期 日 7月8日(金曜) 14:00

会 場 県立武道館第一・第二会議室

※ 書面にて報告・意見集約

内 容 ・委員長より
・各分科会協議・報告

3 第3回委員会

期 日 11月7日(月曜) 14:00

会 場 スポーツ総合センター

内 容 ・委員長より
・各分科会協議・報告

4 第4回委員会

期 日 12月12日(月曜) 14:00

会 場 県立武道館第一・第二会議室

内 容 ・委員長より
・各分科会協議・報告

5 高体連加盟高校部員数入力作業

期 日 12月27日(火曜)

会 場 埼玉県教育会館 13:00

津田(岩槻)・櫻井(大宮南)・関口(蕨)

6 県保健体育研究協議会打ち合わせ

期 日 1月16日(月曜)

会 場 オンライン 14:00~

内 容 ・役員分担
・係ごと打ち合わせ

7 令和2年度県保健体育研究協議会

期 日 1月31日(月曜)

会 場 オンライン 10:00~

その他の活動

◎関東高体連研究部委員長会議

期 日 7月12日(火曜) 13:00

会 場 埼玉教育会館

内 容 ・各都県の活動・近況報告
・その他

◎全国高体連研究部委員会・会議

期 日 1月11日(水曜) 15:00

会 場 ホクト文化ホール

◎全国高体連研究大会

期 日 1月12、13日(木曜、金曜)

会 場 ホクト文化ホール

全国高等学校体育連盟研究大会は全国を8ブロックに分け、それぞれの地域の県を中心に年1回開催される。来年度が58回大会となり鳥取県で開催予定である。今年度の長野大会では、令和6年度に本大会が本県開催となるため、視察を行った。

今年度の研究部の活動では、昨年度から引き続き、継続的で多面的な研究、専門部の枠にとらわれない研究を行うため、研究部委員を三分野のグループに分け、研究を進めている。第一分科会の「競技力向上」では、各専門部前顧問を対象にアンケートを実施し、部活動指導員および外部指導者に関する各校顧問のニーズと現状につ

いて調査・分析中である。第二分科会の「健康と安全」では、事故予防・対策マニュアルの作成を進めている。第三分科会の「部活動の活性化」では、部活動名から探す高校案内（仮称）の作成を計画している。この体制での活動では、委員会への出席が難しい場合にも、メールでのやり取りを通して、研究に参加でき、複数の視点からアプローチすることでより深い考察が可能になると考えていたが、まだうまく機能していないというのが現状である。部活動の変革が求められている昨今、部活動のデメリットが表に出ることが多く、メリットに関するエビデンスが示されることはあまりなく、その数も少ない。理由として部活動のメリットは在学中に示されるものばかりではなく、数字や目に見えるものとして示されるものばかりではないことが挙げられる。この体制の中で、デメリットだけでなく、メリットに関するエビデンスとして示していけることを狙いとした変革である。令和6年度には、第一分科会の「競技力の向上」が全国高体連研究大会にて、発表することが決まっており、今年度のアンケート調査に加え、追調査を実施する予定である。春の顧問総会において実施を予定しており、前回データ数が少なく、分析に正確性がなかったため、今回は全顧問に回答してもらえるよう各専門部委員長に御協力をお願いしているところである。

令和6年度の全国高体連研究大会の埼玉開催に向け、令和5年度には、大会準備委員会を立ち上げ、様々な準備を進めていく必要がある。令和6年度には実行委員会が発足し、本大会で業務にあたっていただくことになる。現在の研究部員だけでは、人手が足りないため、各専門部には、この実行委員会への増員をお願いしている。

研究部委員の活動は、校務、部活動指導で忙しい先生方をお願いしているのが現状である。各専門部においても役職をお持ちであったり、人数が少ない専門部であっても一名の選出をお願いしている。その中でも、熱心に研究活動を行っていただいていることに感謝申し上げます。忙しい中での活動になり心苦しい点はあるものの、研究という地道な行動を続けていくためにも、今後とも御協力をお願いしたい。これから、研究部の活動に興味を持ち、ともに活動する仲間が増えることを願うばかりである。

定 通 部

東部地区副部長

吉川 雅 宣
(久喜高等学校教頭)

南部地区副部長

藤松 津 吉
(川口市立高等学校教頭)

定通部部長



久住 毅
(朝霞高等学校長)

定通部副部長



横瀬 元 応
(川越工業高等学校副校長)

北部地区副部長

松林 剛 司
(本庄高等学校教頭)

令和4年度のまとめ

筆頭副部長 横瀬 元 応

令和4年度高体連定通部は、朝霞高等学校久住 毅校長を定通部長に迎え、4名の副校長・教頭が副部長を務め、児玉 賢一委員長(飯能高等学校)を中心とする役員が主体となり各種体育大会等の運営に当たりました。

一昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各大会が中止され、また昨年度は県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部のみが縮小もしくは工夫された形式で何とか開催されました。令和4年度は、昨年度に引き続きでしたが、感染症対策を徹底した上で、すべての大会が行われたことは、大変喜ばしいことであり、ワールドカップサッカー大会では日本代表がベスト16となり、日本国民をはじめ世界中の人たちを大いに熱狂させたことは、スポーツ界にとっても大きな意義のあることではなかったでしょうか。

さて、本年度定通大会は、競技中以外はマスク・消毒の徹底はもちろんのこと声を発しての応援を自粛するなど感染症対策を徹底した大会ではありましたが、各会場で生徒たちの活気あるプレーや真剣かつ一生懸命な姿を見て感動しました。生徒の日々の努力に心から賞賛を送るとともに、熱心に御指導いただいている顧問の先生方・関係者の方々に深く感謝を申し上げます。

さて、定通部の活動は、例年、主要な大会は次の2つであり、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して、①及び②の大会が開催されました。

- ①埼玉県高等学校定時制通信制総合体育大会兼全国高等学校定時制通信制体育大会埼玉県予選会
(5月～6月)

※ 全国高等学校定時制通信制体育大会

(7月下旬～8月下旬)

② 県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部
(9月～11月)

※ 全国大会上位入賞者による教育長表敬訪問

(2月6日)

なお、新人大会が(1月～2月)に予定されています。開催に当たっては、埼玉県定時制及び通信制教育振興会からの支援を受けるとともに、県教育委員会と県高等学校体育連盟の御指導、また高体連定通部事務局や各競技専門委員長の献身的な大会運営、各学校顧問の先生方の協力により、多くの成果を収めることができたことに御礼申し上げます。

以下に定通部の活動内容と大会の結果を報告します。

1 会 議

(1) 第1回高体連定通部役員会・定通部会

・期日 5月6日(金) 於：県立上尾高等学校

(2) 第2回高体連定通部役員会

・期日 9月6日(火) 於：県立上尾高等学校

(3) 第3回高体連定通部役員会

・期日 12月9日(金) 於：県立上尾高等学校

2 競技会

(1) 埼玉県高等学校定時制通信制総合体育大会兼全国高等学校定時制通信制体育大会県予選会

・期日 令和4年5月14日(土)～7月2日(土)

・会場 上尾運動公園陸上競技場 他

(2) 全国高等学校定時制通信制体育大会

・期日 令和4年7月26日(火)～8月19日(金)

・会場 駒沢オリンピック公園総合運動場 他

(3) 県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部

- ・期日 令和4年9月11日(日)～10月30日(日)
- ・会場 上尾運動公園陸上競技場 他

3 県民総合スポーツ大会高等学校定時制通信制の部 各専門委員会の競技成績及び所感

ア 陸上競技

(ア) 期間 8月1日(月)～8月3日(水)

(イ) 会場 駒沢オリンピック公園陸上競技場

(ウ) 成績

男女総合成績 7位

男子総合成績 12位

女子総合成績 4位

〈男子〉

5000m 岩崎(西武学館) 8位 18' 22" 35

3000mSC 坪本(日々輝) 2位 10' 49" 39

三段跳 鈴木(飯能) 7位 11m94

4×100mR 埼玉県選抜(前原-平岡-石橋-桜庭) 6位 46" 38

〈女子〉

100m 志津(日々輝) 3位 12" 81

100mH 小嶋(狭山緑陽) 1位 18" 17

走幅跳 小嶋(狭山緑陽) 2位 4m52

砲丸投 梶原(クラークさいたま) 8位 7m34

円盤投 堂元(吹上秋桜) 5位 22m63

6月の定通総体兼全国定通大会県予選会は、猛暑の中で競技が行われた。また、COVID-19の脅威もあったが、体調不良者も出ることがなかった。本大会は、競技日程に余裕を持たせる、長距離種目で給水所を設けるなどの工夫を行なったのはもちろん、各校・各選手が十分な感染症対策をしてくれたため、大きな事故・怪我もなく、無事に大会を終えられた。

今年度は、数年前に比べて特に出場校が減ったように感じた。我が国全体の陸上競技の競技人口は年々増えているものの、定通陸上は全国規模で減っているとのことだった。出場校が少ない中、出場選手自身が競技運営に協力してくれたが、定通陸上を盛り上げるため、もう少し出場校があればよいと感じる。総合成績では、男子は狭山緑陽、女子は西武学館が優勝を果たした。

7月下旬に、全国定通大会に向けた結団式と合同強化練習会を行った。結団式では埼玉県選手団の団長と副団長を決め、選手一人一人に自己紹介をさせた。その後の強化練習会では、団長・副団長を中心にアップを行わせ、種目別に分かれて練習を行った。選手主体で選手団全体

を動かしたことで、一人ひとりの親睦が深まったように感じた。

8月の全国定通大会は、駒沢オリンピック公園陸上競技場で行われた。9種目で選手が入賞を果たし、総合成績も男女総合7位と、昨年度以上の成績を収めることができた。小嶋(狭山緑陽)は2種目において表彰台にのぼり、埼玉県の総合成績に大きく貢献した。特に、100mHのレース展開は圧巻であった。今年度、リレー出場者は、ポテンシャルの高い選手から順に選抜していった。残念ながら、女子4×100mR、男子4×400mRは紙一重で失格になってしまった。練習日程が7月下旬の練習会および当日練習のみであるため、致し方ない部分はあるが、今後も陸上競技専門委員会において十分な議論のもと、選手の体調や技術を考慮し、選抜していきたい。

10月の県民総体は、6月に比べて少ない参加状況であった。当大会は各校顧問のみで運営をしなければならない大会であるものの、出場校が少なく、ぎりぎりの大会運営であった。また、大会当日は台風が近づいてきており、悪天候であったものの、中止することなく、選手の活躍する舞台を整えることができた。総合成績では、男子は狭山緑陽、女子は西武学館が優勝を果たした。



(全国大会・男子4×100mR 決勝進出者紹介の様子)

左から 平岡(吹上秋桜)・石橋(春日部)
桜庭(朝霞)・前原(日々輝)



(専門委員長 高井 光 羽生高校)

イ 軟式野球

(ア) 期間 8月15日(月)～8月18日(木)

(イ) 会場 明治神宮野球場他

(ウ) 成績

清和学園高校 第3位

2回戦 18-4 大阪連合

準々決勝 11-1 クラーク記念国際・千葉

準決勝 6-14 大智学園高校(東京都)

【定通総体兼全国定通大会県予選会】

新人戦を5月中旬に行い、5月末より開催となった定通総体。前年度の県民総合スポーツ大会より1校少ない16校12チームが出場した。昨年度全国大会で3位となった強豪の大川学園高校をはじめ、レベルの高い野球を展開するチームが多い中、大会を制したのは清和学園高校であった。大会を通して自慢の強力打線が機能し、4試合で計44得点と他を圧倒する打線であった。2回戦で好投手擁する大川学園との直接対決となったが、初回からの猛攻と安定した守備をみせ、6-3で勝利。勢いそのままに準決勝、決勝とコールド勝ちをし、3回目の全国大会出場を決めた。

【第69回全国高等学校定時制通信制軟式野球大会】

14大会連続優勝を果たしている奈良県・天理高校の対抗馬の一角と目されていた清和学園高校は、初戦の大阪代表・大阪連合に対し、埼玉県大会での戦いぶりそのままに18-4のコールド勝ちを修める。3回戦の対クラーク記念国際・千葉との試合でも11-1と盤石の戦いを披露。準決勝に駒を進めた。準決勝では大会屈指の好投手を擁する東京都・大智学園高校と対戦。序盤は互角の戦いを見せたが、6-14で敗退となった。しかし、2大会連続の埼玉県勢3位入賞と、埼玉県のレベルの高さを示してくれる大健闘であった。

【第35回県民総合スポーツ大会】

定通総体と同数の16校12チームでの開催となった。定通総体は大味な試合が多かったが、今大会は締まった接戦が多かった印象である。全11試合中コールドゲームは1回戦の3試合のみであった。決勝戦は、大川学園高校と日々輝学園高校の対戦となった。定通総体も決勝戦に進出した日々輝学園と定通総体の雪辱を晴らしたい大川学園高校。結果は、地力の強さを示した大川学園が6-2で勝利し優勝した。

県民総合スポーツ大会については、感染防止対策を講じた上で保護者の入場を許可し、実施した。少しずつ“普通”の野球のゲームが取り戻しているような気がしている。選手の日頃の練習の成果を発揮する場を今以上に充実させられるよう、大会運営等を積極的に行ってい

きたい。

初めて野球に触れる選手も多くいるため、今年度は年度当初に初心者層対象に技術講習会を実施した。野球の魅力に気付いてもらえるよう、持続可能な取り組みをしていきたい。



(専門委員長 木持 雄大 川口工業高校)

ウ ソフトテニス・テニス

令和4年度の定通総体は昨年に引き続き、千葉県白子町で幕を開けた。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、消毒・検温・コート外でのマスクの徹底・無観客といった選手や関係者に無理を強いる大会となった。

埼玉県として、女子団体1位、男子団体3位という成績を収めることができた。コロナ禍で全国大会の出場を棄権する県がある中で、埼玉県選手団の男子女子ともにこれほどの成績を残すことができたのは、各校の顧問の先生方の日頃のご指導や埼玉県の役員の先生方の支え、何より保護者の皆様の協力があったからこそ、実現できたものだったと思う。

また、10月には、定通総合スポーツ大会を開催することができた。先に行われた全国大会の出場をもって、3年生の多くが引退したにも関わらず、多くの選手の参加があった。日頃各学校での日々の練習の成果を様々な場面で見る事ができた大会だった。

最後に大会を開催するにあたって多くの方々にご尽力いただきました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



(全国大会の様子 女子1位・男子3位)
(専門委員長 鳥田 一彦 浦和第一女子高校)

工 卓球

【令和4年度の大会日程等について】

(1) 令和4年度定通総体県予選

日程：令和4年5月22日（日）個人戦

令和4年5月29日（日）団体戦

会場：上尾運動公園体育館

(2) 令和4年度強化練習会

日程：令和4年7月16日（金）

会場：川口市立高校

※全国大会出場選手のみ参加

(3) 全国高等学校定通制体育大会第55回卓球大会

日程：令和4年7月26日（火）～7月28日（木）

会場：駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館

(4) 令和4年度県民総合スポーツ大会

日程：令和4年10月16日（日）個人戦

令和4年10月23日（日）団体戦

会場：上尾運動公園体育館

(5) 令和4年度新人大会 ※現時点での予定

日程：令和5年1月29日（日）個人戦

令和5年2月 5日（日）団体戦

会場：スポーツ総合センター

【定通総体県予選の様子について】

定通総体県予選は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で実施した。大会の参加登録は、男子個人戦が73名、女子個人戦が24名、男子団体戦が10校、女子団体戦が4校であった。（当日棄権は除く）

個人戦は、男子は武蔵野星城高校の選手が全国大会にシードとして出場するため、その選手を除いてトーナメントを行い、ベスト4まで勝ち上がった選手とその選手の5名で順位決定リーグ戦を行った。男女ともシードの選手が力を発揮する中、男子は星槎国際大宮高校と吹上秋桜高校の選手がベスト4に初めて進出し、女子も大宮中央高校（三通）の選手が初出場で優勝するなど、新しい選手も活躍した個人戦になった。

男子団体戦では、清和学園高校が1シードの武蔵野星城高校を破り優勝を果たした。女子団体戦では、総合力の高さを見せた吹上秋桜高校が優勝を果たした。

全国大会出場を目指して全力でプレーする選手の姿を見ることができ、素晴らしい大会となった。

【全国大会の結果について】

埼玉県からは個人戦で男子5名、女子4名、団体戦で男女1チームずつ出場した。男子個人戦では、大宮中央高校（三通）の選手がベスト4という素晴らしい成績を残し、その他の選手についても、全国の強豪を相手にそれぞれがベストを尽くし戦い抜くことができた。団体戦についても、男子がベスト8、女子がベスト4と埼玉県のレベルの高さが見られた大会になった。

【県民総合スポーツ大会の様子について】

県民総合スポーツ大会は、定通総体県予選と同様に新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で開催した。大会の参加登録は、男子個人戦が75名、女子個人戦が14名、男子団体戦が7校、女子団体戦が3校であった。（当日棄権は除く）

男子個人戦では、武蔵野星城高校の選手が、全国大会ベスト4の選手を決勝で破って優勝を果たした。女子個人戦では、吹上秋桜高校の選手が初優勝を果たした。

男子団体戦では、清和学園高校が個々のレベルの高さを発揮して定通総体に続いて連覇を果たした。リーグ戦形式となった女子団体戦では、吹上秋桜高校が全国大会ベスト4の実力を発揮し連覇を果たした。

今大会は久しぶりに保護者の入場が認められ、当日は選手のプレーに多くの拍手が送られた。今回の大会が卒業生にとっては最後の大会であった。1月の新人戦では新しい選手の活躍に期待したい。

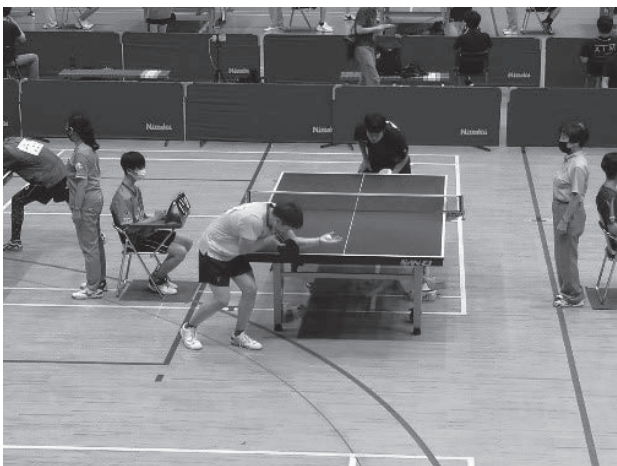
【おわりに】

新型コロナウイルスの感染拡大は続いています。今年度も、各校顧問、関係者の方々、ガイドラインの遵守に協力してくれた選手の皆さんの御協力のおかげで、無事に大会を開催することができました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

・上尾運動公園体育館の様子（県民総合スポーツ大会）



・試合の様子（全国大会）



（専門委員長 井上 正博 県立吉川美南高校）

オ 柔道

【定時制通信制総合体育大会埼玉県予選会】

今年度の定通総体は埼玉県立戸田翔陽高等学校で5月28日（土）に開催することになった。

男子90kg 超級の出場選手が志村陽葵選手（吹上秋桜）と鬼塚真郷選手（日々輝学園）の2人だったため決勝戦を行い、志村選手が鬼塚選手を横四方固で抑え込んで1本を取って勝利し、優勝した。

女子の試合は選手のエントリーが無かったため実施せず、男子65kg 級の木村天星選手（吹上秋桜）と75kg 級の小野太雅選手（戸田翔陽）、90kg 級の伊藤大樹選手（大

宮中央（通信）は、それぞれの階級でエントリーが1人だったため不戦勝で優勝となった。

この結果により、各階級の優勝者は全国大会への出場が決まった。

【第53回全国高等学校定時制通信制柔道大会】

ここ2年間中止となっていた全国大会だが、今年度は例年通り講道館で8月7日（日）に開催された。

男子個人戦は、65kg 級の木村選手は得意の巴投げで勝ち上がるも準々決勝で敗れてベスト8だった。75kg 級の小野選手は緊張からか自分の柔道ができずに敗れてしまい1回戦敗退だった。90kg 級の伊藤選手は払腰や内股を駆使して危なげなく勝ち上がったが、決勝で終了間際に隙をつかれて惜しくも敗れて準優勝という結果だった。90kg 超級の志村選手は1回戦を不戦勝で勝ち上がり向えた準々決勝で得意の払腰で投げることができず横四方固で敗れてベスト8だった。

男子団体戦は、個人戦の木村選手、伊藤選手、志村選手に加えて中島徹選手（戸田翔陽）と鬼塚真郷選手（日々輝）の5名でチームを組んで臨んだ。1回戦と準々決勝は先鋒の伊藤選手、次鋒の鬼塚選手、中堅の志村選手が勝って早々に勝利を決めたが、準決勝ではそれまで勝利してきた鬼塚選手が激戦の末に敗れ、中堅の志村選手が勝って巻き返したが、副将の中島選手と大将の木村選手が健闘するも敗れたため第3位となった。

3年ぶりの大会であったが選手同士で声を掛け合い、良い雰囲気で行なうことができた。それが結果に結びついたのでと思われる。

【県民総合スポーツ大会】

今年度の県民総合スポーツ大会も昨年度と同様に戸田翔陽高校で9月11日（日）に開催された。

全国大会にも出場した男子75kg 級の小野選手と中島選手が対戦し、中島選手が体落と袈裟固の合わせ技で1本を取って勝利し、優勝した。





(専門委員長 木村 朋行 戸田翔陽高校)

カ 剣道

(ア) 期間 8月1日(月)

(イ) 会場 日本武道館

(ウ) 成績

《男子団体戦》

《埼玉県選抜》 予選リーグ敗退

予選リーグ 1勝

1 (1) - 4 (8) 岐阜県 A

4 (7) - 0 (0) 岡山県

《女子団体戦》

《埼玉県選抜》 3位

予選リーグ 2勝

3 (5) - 0 (0) 新潟県

3 (6) - 0 (0) 香川県

決勝トーナメント

準決勝 1 (1) - 2 (3) 千葉県

《男子個人戦》

菊地一之輔 (日々輝) 1回戦敗退

田崎 優斗 (戸田翔陽) 1回戦敗退

児玉 在 (西武学館) 1回戦敗退

柴野 遊斗 (大川学園) 1回戦敗退

《女子個人戦》

福島 珠々 (大川学園) 準優勝

高田 美咲 (戸田翔陽) 3回戦敗退

福島 萌々 (大川学園) 4回戦敗退

佐原 光莉 (大川学園) 1回戦敗退

全日制剣道部・実業団の方々の協力を得て、全国大会前に6回の強化練習会を行った。

男子団体は惜しくもリーグ突破はならなかったが、選手たちが団結し1試合1試合を全力で戦い抜いた。

女子団体においては、6連覇のかかる試合であった。選手たちは一生懸命取り組んだが、悔しい3位という結果になった。また、女子個人では福島珠々選手(大川学園)が準優勝に輝いた。

次年度は、今年度の悔しい思いを晴らすべく、男女共に入賞を目指して、今後も各校の顧問の先生方にご協力をいただき、部員の確保と剣道の理念に基づいた人間形成に努めていきたい。



(剣道専門委員長 伯耆田 茜 羽生高校)

キ バレーボール競技

(ア) 期間 8月2日(火)～8月6日(土)

(イ) 会場 ひらつかサン・ライフアリーナ

トッケイセキュリティ平塚総合体育館

(ウ) 成績

《男子》

県立戸田翔陽高校 ベスト16

予選グループ戦

1回戦 対 倉敷市立工業(岡山) 2-0

決勝トーナメント

1回戦 対 鳴 滝(長崎) 2-0

2回戦 対 静岡中央(静岡) 0-2

《女子》

県立吹上秋桜高校 ベスト16

予選グループ戦

1 回戦 対 明秀学園日立 (茨城) 0 - 2
敗者戦 対 那覇商業 (沖縄) 2 - 0

決勝トーナメント

2 回戦 対 清心女子 (神奈川) 2 - 1
3 回戦 対 城南 (岐阜) 0 - 2

【全国大会予選】

本年度の全国定通大会予選は、男子は4チーム参加のトーナメント形式で、女子は2チーム参加の決勝戦が行われた。男子は県立戸田翔陽高校、女子は県立吹上秋桜高校が優勝し、県代表の座を勝ち取った。戸田翔陽高校男子は10年連続10回目、吹上秋桜高校女子は2年連続2回目の大会出場となった。

【全国大会】

今年度は久しぶりに、予選リーグと決勝トーナメントが実施された。

男子は、予選グループ戦で岡山県代表の倉敷市立工業高校と対戦し、2 - 0で危なげなく勝利し、決勝トーナメントへ駒を進めた。決勝トーナメント1回戦では、長崎県の鳴滝高校と対戦し、サーブで連続得点を獲得し、2 - 0で勝利した。続く2回戦では、静岡県静岡中央高校と対戦した。最後に猛追をみせるも、0 - 2で敗退した。結果としては、4年連続ベスト16となった。

女子は、予選グループ戦で茨城県の明秀学園日立高校と対戦した。長身の選手を中心とした攻撃に対応できず、0 - 2で負けてしまった。しかし、敗者戦で沖縄県代表の那覇商業と戦い、2 - 0で勝利し、決勝トーナメント進出を決めた。決勝トーナメントでは神奈川県代表の清心女子相手に、2 - 1で勝利し、ベスト8進出を決めた。続いて、前回の優勝校である城南高校と対戦した。城南高校とは、昨年対戦していたので、リベンジに燃えていたが、組織力で負けてしまった。

選手たちは全国のトップクラスの選手たちのプレーを肌で感じる事ができた。敗退こそしたものの大きな収穫のある大会になったと思う。

【県民総合スポーツ大会】

全国大会予選と同様に、男子は4チーム参加のトーナメント戦形式で行われた。女子は1チーム参加の申し込みであったため、エントリーのあった吹上秋桜高等学校が優勝となった。男子はどのチームも力が拮抗しており、フルセットの試合が2試合あり、手に汗握る展開となった。激戦を制したのは県立戸田翔陽高校で、組織力が若干上回っていたと思われる。次の新人大会はさらに白熱した試合になることを期待したい。



(専門委員長 岡本 直哉 県立吹上秋桜高等学校)

ク サッカー

5月15日から6月12日にかけて、定通総合体育大会兼全国高等学校定時制通信制サッカー大会埼玉県予選が開催された。県内計10チームが参加し、2枠の全国大会出場枠を争った。ベスト4に残ったのは、日々輝学園・クラークさいたま・狭山緑陽・吹上秋桜の4チームであった。準決勝、日々輝学園 vs クラークさいたまでは延長戦で日々輝学園が勝ち越した。もう1試合、狭山緑陽 vs 吹上秋桜では、延長戦でも決着がつかずPK戦の末、吹上秋桜が勝利した。よって昨年度同様、日々輝学園・吹上秋桜の2校が全国大会への切符を手に入れた。決勝戦では、延長戦PK戦を経て、吹上秋桜が勝利し、埼玉県第一代表となった。

全国大会は、7月29日から8月2日にかけて静岡県にて開催された。日々輝学園は、兵庫県代表の県立西宮香風と対戦し0対1で敗れた。吹上秋桜は、宮城県代表の貞山と対戦し、2対3で敗れた。残念ながら両埼玉県代表は、初戦で敗退することとなった。

9月18日から10月9日にかけて、県民総合スポーツ大会兼関東地区高等学校定時制通信制サッカー大会埼玉県

予選が開催された。今大会では計9チームが参加し、2枠の関東大会出場枠を争った。定通総体同様、日々輝学園・クラークさいたま・狭山緑陽・吹上秋桜の4チームがベスト4へ進出し、日々輝学園・吹上秋桜の2校が決勝進出を果たした。決勝は、日々輝学園の勝利で大会を終えた。なお、日々輝学園・吹上秋桜の2校は、11月26・27日に行われる関東地区高等学校定時制通信制サッカー大会に出場予定である。

今年度、県内で行われた2大会では、日々輝学園・吹上秋桜の2校が両大会において決勝進出を果たした。実は、昨年度も全く同じ状況であった。現在県内ではこの2校の力が突出していることは明白である。しかしながら、今年度の全国大会では両チームとも初戦敗退という結果に終わってしまった。両チームとも僅差での敗退ではあったが、全国と比較してレベルの差を痛感させられる結果であった。ここ数年、埼玉県勢が全国大会で結果を残せない状況が続いている。この状況を打破するには、県内大会の質の向上が急務である。県内での選抜チームの活動も予定しているが、県内での選手間もしくは指導者間での交流も重要であると考えている。より多くの選手に実戦経験を積ませて、より多くの選手に対してサッカーの理解度を向上させていく必要がある。指導者間で一丸となり、よりよい活動をしていきたいと考えている。



(専門委員長 上鶴 翔平 狭山緑陽高校)

ケ バスケットボール

1. 令和4年度全国大会埼玉県予選大会

新型コロナウイルス感染対策をしっかりと行い、3日間に戻して実施した。新型コロナの感染等はなく、生徒たちの良い表情が見られた大会であった。

～大会報告～

【男子】

優勝 大宮工業高校
準優勝 川越工業高校
3位 朝霞高校
狭山緑陽高校

【女子】

優勝 戸田翔陽高校
準優勝 松栄学園
3位 狭山緑陽高校
川口市立高校

～全国大会結果～

【男子】

大宮工業初戦は8月5日(金)対戦校は佐賀県代表鳥栖工業。生徒たちは初の全国大会でかなり緊張していたが、内容的には大宮工業が伸び伸びプレーすることができ、最終スコア90-19で勝利した。翌日8月6日(土)、対戦校は沖縄県代表八重山商工。チーム力は同程度、終始点の取り合いで接戦。生徒たちの体力も底を付いていたが、勝ちたい気持ちが勝り、最後まで走りぬいた結果57-55で勝利することができた。生徒たちの頑張りで、ベスト8となった。同日、ベスト4をかけて対戦した東京都代表①八王子拓真と対戦。大宮工業の生徒たちはバテバテの状態でも戦った。結果としては86-34で敗れたが、1試合走り切るのも難しい中で、全員が最後まで足を止めずに戦い切った。子どもたちは気持ちの面でもバスケの面でも大きく成長することができたと感じた。

(優勝)東京都八王子拓真(2位)新潟県佐渡相川分校

【女子】

戸田翔陽の初戦は8月4日(木)対戦校は岐阜県代表だったが、参加自粛で棄権となり、8月5日(金)が初戦となった。対戦校は昨年度の優勝校、奈良県代表天理高校。攻守に隙が全くなく、戸田翔陽の攻めは簡単に止められ、点数が入らない状況が続く、守りは高い身長を活かしたプレーで崩される。そんな状態でも生徒たちは諦めずにプレーし、最後まで走りぬいた。結果は73-31で敗れたが、生徒たちは強い相手と対戦し大きく成長できたと感じる。チームとしてもまだまだ先があるので来年度も出場できるよう頑張ってもらいたい。

2. 令和4年度新人大会

トーナメント戦として実施。新型コロナウイルス感染者数も少し増えているが、今後の状況を確認しながら感染対策を徹底して実施予定。

(専門委員長 竹内勇祐 大宮工業高校)

コ バドミントン

1. 全国高等学校定時制通信制バドミントン大会埼玉県予選

(ア) 期間：6月5日(日)・12日(日)

(イ) 会場：埼玉県立吉川美南高等学校
埼玉県立戸田翔陽高等学校

(ウ) 成績

〈男子シングルス〉

第1位 小澤 暖人(クラークさいたま)

第2位 中川 晴翔(越ヶ谷)

第3位 大町 輝空(武蔵野星城)

第4位 崔 世航(戸田翔陽)

〈女子シングルス〉

第1位 山本 麗香(川口市立)

第2位 山本 彩香(川口市立)

第3位 大作みゆう(戸田翔陽)

第4位 田辺 萌那(クラークさいたま)

※ダブルス：今年度は中止

第2位 山本 彩香(川口市立)

第3位 曳地 美希(武蔵野星城)

大作みゆう(戸田翔陽)

〈男子ダブルス〉

第1位 中川 晴翔・及川宗一郎(越ヶ谷)

第2位 立原 楓也・成塚 一牙(吉川美南)

第3位 大町 輝空・押田 黎斗(武蔵野星城)

崔 世航・秋山 楓汰(戸田翔陽)

〈女子ダブルス〉

第1位 山本 彩香・山本 麗香(川口市立)

第2位 大作みゆう・梅澤 愛佳(戸田翔陽)

第3位 カンテラス ユリアン・濱野 結愛(狭山緑陽)

大森 未帆・川崎なおみ(戸田翔陽)

4. 所感

全国大会では、ほぼ全員が初出場でありながらも熱戦を繰り広げ、よく健闘した。

今年度は、大会参加者数が増加しており、今後の盛り上がり楽しみに期待したい。

2. 第24回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会

(ア) 期間：8月16日(火)～19日(金)

(イ) 会場：小田原アリーナ

(ウ) 成績

〈男子〉

団体戦：2回戦敗退

個人戦：小澤 暖人(クラークさいたま)

2回戦敗退

中川 晴翔(越ヶ谷) 1回戦敗退

〈女子〉

団体戦：2回戦敗退

個人戦：山本 麗香(川口市立) 3回戦敗退

山本 彩香(川口市立) 2回戦敗退

3. 第35回県民総合スポーツ大会

(ア) 期間：10月2日(日)・9日(日)

(イ) 会場：埼玉県立吉川美南高等学校
埼玉県立戸田翔陽高等学校

(ウ) 成績

〈男子シングルス〉

第1位 大町 輝空(武蔵野星城)

第2位 小澤 暖人(クラークさいたま)

第3位 中川 晴翔(越ヶ谷)

崔 世航(戸田翔陽)

〈女子シングルス〉

第1位 山本 麗香(川口市立)



写真は全国大会

上：男子団体(ダブルス)

下：女子団体

(専門委員長 中本 雅子 川口市立高校)

3 教育長表敬訪問

(全国定通大会優勝・準優勝チーム・選手)

新型コロナウイルス感染拡大の観点から、人数を軽減し、優勝・準優勝の選手8名が代表として以下のとおり教育長表敬訪問をすることになりました。

ここには表記がない生徒も、素晴らしい成績を残したとともに全力で競技していたことを大いに誇りに思い、これからの生活にも頑張っていってほしいと切に願っております。

(1) 表敬訪問予定生徒 (代表8名)

- | | |
|---------------------|-----|
| ・丸山陽菜珠 (清和学園) | |
| ソフトテニス (女子団体) | 優 勝 |
| ・高荷 知美 (クラーク記念さいたま) | |
| ソフトテニス (女子団体) | 優 勝 |
| ・小出 綾乃 (大川学園) | |
| ソフトテニス (女子団体) | 優 勝 |
| ・福島 珠々 (大川学園) | |
| 剣道 (女子個人) | 準優勝 |
| ・浅見 静音 (狭山緑陽) | |
| ソフトテニス (女子団体) | 優 勝 |
| ・小嶋 彩愛 (狭山緑陽) | |
| 陸上競技 (100mH) | 優 勝 |
| 陸上競技 (走り幅跳び) | 準優勝 |
| ・坪本 慎也 (日々輝学園) | |
| 陸上競技 (3000mSC) | 準優勝 |
| ・伊藤 大樹 (大宮中央) | |
| 柔道 (90kg 級) | 準優勝 |

結びに定通高体連の益々の更なる発展と、今回このような教育長表敬訪問という機会を与えていただいた県教育委員会並びに各関係機関の皆様の御配慮に心から感謝申し上げます。

(定通部筆頭副部長 横瀬 元応 川越工業高校)

